国分中学校　校長室だより

第　11　号
令和３年２月 16 日

「1 月は往ぬる。2 月は逃げる。3 月は去る」と言われるように、あっという間に 3 年生は卒業まで約 1 ヶ月となりました。また、1,2 年生も 3 学期の折り返し点を通過しようとしています。緊急事態宣言が延長され、まだまだ油断を許さない状況です。コロナで「人のつながり」のあり方が変化してきていると言われますが、このようなときだからこそ、声かけや支え合い、思いやる気持ちを大切にしたいですよね。

レバー式になった水道

教室では加湿器がフル稼働

見方を変えれば・・・・

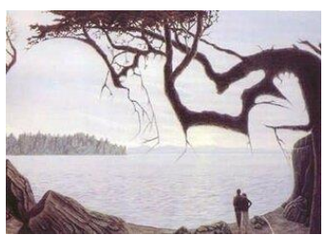
中学 1 年生の国語の教科書にもでてきた絵ですが、何が描かれていますか？

若い女性にも、年配の女性にも見える絵でしたよね。もし、若い女性にしか見えないときは、耳を目に、アゴを鼻に、ネックレスを口として、年配の女性にしか見えないときは、逆に目を耳に、鼻をアゴに、口をネックレスとして見ることで、両方が見えるようになるそうです。見えましたか？

日常生活にもそのようなことはないですか？

性格もその一つです。『落ち着きがない』と考えると短所になりますが、『活発・活動的』と考えると長所になると思いませんか。自分の嫌だと思う性格について、発想の転換をしてみましょう。

同じように、『あの人は〇〇だから・・・・』と思い込んでいると、その人のいいところに気がつかないことがよくあります。視点を変えて、友達のいいところをさらに探してみてください。きっと、新たな発見があると思います。



緊急事態宣言が発令されても

1 月 25 日に 1 年 2 組で数学の研究授業を行いました。オンライン会議用ソフトを使用し、講師の先生には大学で授業を見ていただきました。「正多面体はいくつできるか」を考える授業でしたが、しっかり考え、発表する姿をたくさん見ることができました。また、講師の先生からは、時間を意識した行動、振り向き、拍手などについておほめの言葉をいただきました。

進路や夢を考えるきっかけに

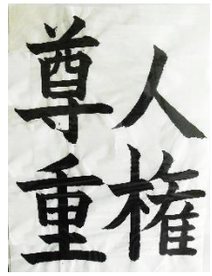
翌日には、本校のスクールカウンセラーである庄司先生から 2 年生に職業についてのお話をしていただきました。なぜその職業を選択したのか、何を大切にしているかや、今だけ自分だけでない生き方を考えてほしいこと、間違いや失敗から学ぶことははかり知れないこと、苦労した人は人の気持ちが分かることなど、貴重なお話をうかがいました。時間を意識した行動やしっかり顔が上がっていたことなど、とても話しやすかったとおっしゃっていました。

人権啓発作品

当たり前 今日も感謝し 生きていく
永遠に 平和のバトン 受け継ごう
悲しみを 語り続けて いま生きる

ありがとう 自分の思い 伝えよう
大丈夫 そのひとことに ありがとう
人の気持ち 考えてから 発言に

ありがとう その一言で あたたまる
思いやり 自分の心も あたたまる
無理せずに 心の声に 従おう



中高連携書写　学校代表秀作

スマイルキャンペーン実施中!!
～座布団づくりのボランティア活動～

利用する方の心や体が少しでも癒されることを願い、生徒会の呼びかけで、今年も座布団づくりを行い、河内国分駅に設置しました。協力してくれた皆さん、ありがとうございました。これまでは、駅で座布団を見かけると「ありがたい」と思うだけでしたが、「この座布団は誰がつくってくれたのだろう」と思いをめぐらせるようにもなりました。